

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	放課後デイサービスBAMBOOHAT折之口		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 25 日 ~ 2025 年 12月13 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 21名	(回答者数)	21名
○従業者評価実施期間	2025年 11月 25 日 ~ 2025 年 12月13 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 6人	(回答者数)	6人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1 月 27 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	家庭では経験しにくい外出活動や社会体験を積極的に取り入れ、利用者の「できること」を増やす支援を行っている点が強みであると考えます。	外出活動や集団活動を行う際には、利用者一人ひとりの特性や発達段階に配慮し、視覚的な支援や事前説明、個別対応などを取り入れている。安心して活動に参加できるよう、環境設定や声かけの方法を工夫し、成功体験を積み重ねられる支援を心がけている。また、	支援方法や支援の視点について、職員間での共通理解をさらに深め、支援の質の均一化を図ることが課題である。また、個別支援計画と日々の支援・記録とのつながりをより明確にし、支援の振り返りや改善につなげていく必要がある。
2	調理活動などの体験型プログラムや、送迎時の丁寧な情報共有を通して、保護者と連携した支援ができていることも評価されています。	活動内容について職員間で情報共有を行い、利用者の状態に応じた柔軟な支援を実施している。	今後は職員の支援力向上に向けた研修や振り返りの機会を充実させ、利用者がより主体的に活動へ参加し、社会性や自立に向けた力を伸ばせる支援体制を整えていきたい。
3	情報発信の充実	ブログやニュースレター、インスタグラムを通じて、日々の活動や支援、成長かてがより伝わるように、写真や文章表現に配慮しながら、継続的な情報発信を行っている。	発信内容のテーマや目的を整理し、支援のねらいや成長の過程がより伝わる工夫を行うとともに、スタッフ間で情報発信への共有を図り、質の向上を目指す。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援記録や振り返りが活用されているものもあるが活かされず支援の成果や課題を整理し、スタッフ間で、共有しきれない点	支援記録の整理方法や共有の視点が統一されていない部分もあり、支援の成果や課題が共有されていないことがある。。	振り返りの機会を整理し、短時間でも成果や課題が共有できる仕組みを整え、スタッフ間の共通理解を深めていく。
2	保護者間の交流が出来ていない点	保護者同士の交流促進するための交流会や保護者会の開催が不足。	保護者交流の活動を積極的に企画し、家族同士が情報交換できる場を提供していくことで、より良い支援体制を築いていきたいと考えています。

3	業務の効率化が図れていない点	業務手順が明確でない部分があり、この経験や判断に依存した進め方となっている。	業務の効率化が十分に図れていない要因として、業務手順が明確でない部分があり、職員の経験や判断に依存した進め方となっている点が挙げられます。今後は業務手順や役割分担の整理・共有を進め、記録方法などの見直しを行うことで、業務の効率化と支援体制の充実を図っていきます。
---	----------------	--	---

(別  
紙  
4)

---